ARTIST-IN-RESIDENCE FORUM: "BEYOND THE ARCTIC CIRCLE"

JUNE 11, 2010

Session I :

The 9th J-AIR Directors' Meeting at the Finland Embassy

13:00-15:30

Session II:

The 3rd AIR Open Forum at the Royal Norwegian Embassy

16:00-21:00

The 9th
J-AIR Network Forum

主催 : J-AIR ネットワーク会議実行委員会
共催 : フィンランド大使館 / フィンランドセンター /
ノルウェー王国大使館
協力 : 国際交流基金
開催日 : 2010 年 6 月 11 日 (金曜日)
会場 : フィンランド大使館 13:00~15:30
ノルウェー王国大使館 16:00~21:00

AIR 担当者会議出席者

小田井 真美	アーカスプロジェクト
杉山 豪介	アーカスプロジェクト
富田 勝彦	アートビオトープ
松本 一雄	アートビオトープ
藤井 周	愛知県立芸術大学
松村 絢	京都芸術センター
勝冶 真美	京都芸術センター
猪股 春香	クリエイティブセンター大阪
衣笠 収	神戸市企画調整局デザイン都市推進室
日沼 禎子	青森公立大学 国際芸術センター青森
菅野 幸子	国際交流基金
帆足 亜紀	国際交流基金
浅賀 正治	桜川 AIR(岩瀬石彫展覧館)
松平 万里佳	瀬戸市美術館
山口 祥平	首都大学東京システムデザイン学部
嘉藤 笑子	野毛 Hana*Hana
太田 エマ	3331 Arts Chiyoda
黒田 みのり	滋賀県 陶芸の森
岡本 純子	セゾン文化財団
村田 達彦	遊工房アートスペース
村田 弘子	遊工房アートスペース
ジェイミー・ハンフリーズ	遊工房アートスペース
鈴木 恵子	遊工房アートスペース
宮永 郁恵	
門田 けい子	淡路市・長沢アートパーク AIR 事業
佐藤 靖之	CfSHE ANNEX
大西 真	CfSHE ANNEX

(敬称略、順序不同)

Organizer: J-AIR Network Forum Committee
Cooperation: Embassy of Finland / The Finnish Institute in Japan
The Royal Norwegian Embassy
Endorsement: The Japan Foundation
Date & Time: Friday, June 11, 2010
Place: Embassy of Finland 13:00-15:30
The Royal Norwegian Embassy 16:00-21:00

AIR directors meeting attendances:

Mami Odai	ARCUS Project
Gousuke Sugiyama	ARCUS Project
Katsuhiko Tomita	Art Biotop
Kazuo Matsumoto	Art Biotop
Shu Fujii	Aichi Prefectural University of Fine Arts and Music
Aya Matsumura	Kyoto Art Center
Mami Katsuya	Kyoto Art Center
Haruka Inomata	Creative Center OSAKA
Osamu Kinugasa	Kobe City
Teiko Hinuma	Aomori Contemporary Art Centre, Aomori Public Collage
Sachiko Kanno	The Japan Foundation
Aki Hoashi	The Japan Foundation
Masaji Asaga	Artist-in-Residence Sakuragawa
Marika Matsudaira	Seto City Art Museum
Shouhei Yamaguchi	Toyko Metropolitan University
Emiko Kato	Noge Hana*Hana
Emma Ota	3331 Arts Chiyoda
Minori Kuroda	The Shigaraki Ceramic Cultural Park
Jyunko Okamoto	The Saison Foundation
Tatsuhiko Murata	Youkobo Art Space
Hiroko Murata	Youkobo Art Space
Jammie Humphreys	Youkobo Art Space
Keiko Suzuki	Youkobo Art Space
Ikue Miyanaga	
Keiko Kadota	Nagasawa Art Park AIR Project
Yasuyuki Sato	CfSHE ANNEX
Makoto Oonishi	CfSHE ANNEX

NORWEGIAN EMBASSY　EMBASSY OF FINLAND TOKYO　THE FINNISH INSTITUTE IN JAPAN　JAPANFOUNDATION

はじめに
FOREWORD

アーティスト・イン・レジデンス (AIR) フォーラムの開催にあたって

浅賀正治
J-AIR ネットワーク会議実行委員会代表

この度は、ご参加の皆様には、ご多忙な中、遠い道をご参集くださり誠にありがとうございます。
心より御礼申し上げます。

アーティスト・イン・レジデンス (以降、AIR) の開催にあたり、国内各地で多くの皆さまに、いかほどのご尽力をいただいているかわかりません。今年も、このように集い、その苦労や貴重な体験、ノウハウを共感できることをたいへん嬉しく思います。また、本会議開催の都度、私たちは国際理解に果たす AIR の役割の大きさ、その責任の重さをますます強く実感しております。

日本の国境は深い海の底に引かれた線でしょうか？
離れ島のトンガリ岩の上にあるのでしょうか？
地球の上に国境や制度の違いの線を、引いたのは人間です。
私たちが開催する J-AIR ネットワーク会議は、その線を人間の絆の太い綱に変えるものです。日本の国境はここに参集された皆様の心の大きさです。

J-AIR ネットワーク会議は、AIR の活動について理解や協力が得られずに悩み、苦労したことを共に励まし合いながら、国際社会におけるその役割の大きさを再確認する同志の集いです。そして、また、AIR が各方面に、より詳しく、正しく、評価されるよう努力することを誓う場でありたいと願っております。

最後になりましたが、本日、会場を快くお貸しくださったフィンランド大使館、フィンランドセンター、ノルウェー王国大使館に心よりお礼申し上げます。これをご縁に、私たちの J-AIR 会議の集いが、今後、北極圏の国々のみなさまと、より良い交流が今まで以上に発展しますよう、更に努力することをお誓い申し上げて私のあいさつといたします。

Opening message

Masaji Asaga
Chairman, J-AIR Network Forum Committee

I would like to express my heartfelt thanks to all of you for taking the time to attend our 9th J-AIR directors' meeting and 3rd AIR Open Forum today.

It is a great pleasure to be able to hold our forum again this year and meet together for sharing our know-how and AIR stories.

I know how hard everyone has been working every day to overcome many problems and difficulties at the various AIR spaces all over Japan. The more I participate in the forums, the more I come to appreciate the extent of the responsibility we have been shouldering through the AIR projects and through our quest for international understanding amidst multiple cultural values.

How do we feel about borders?
Are the borders of Japan like lines in the deep ocean?
Are they on the rocky shore of a lone island?
On this earth, the lines constituting national borders, the lines dividing inside from outside, all these lines have been drawn by human beings.
I believe that all of us at this J-AIR network meeting can alter these lines and replace them with bonds of friendship connecting all of our hearts and minds.

I would like to say once again that we, colleagues of this J-AIR forum, have been challenging ourselves to find solutions by sharing our past experiences and know-how in the arts. We will attempt, in the future, not only to achieve better understanding of the role of AIR by the international community but also to re-define and re-affirm this role for ourselves.

Finally, I wish to thank the Embassy of Finland, the Finnish Institute in Japan and the Royal Norwegian Embassy for their cooperation and for providing us with the wonderful spaces we are meeting in today. I would particularly like to thank Mr. Aarne Toivonen for his faithful coordination of today’s meeting. We, the J-AIR Network forum colleagues, highly value your cooperation and will promote relationships among AIR organizations and artists from Japan and from countries of the Far North, so as to multiply fruitful interaction in the future.

フィンランドセンター (FIJ) の紹介

フィンランドセンター / アールネ・トイヴォネン

The Finnish Institute in Japan /Aarne Toivonen

FIJ とは ...

沿 革

フィンランドセンターは、フィンランド教育文化省から支援を受ける民間財団が運営し、1997 年にヘルシンキで設立されました。翌 1998 年から東京で活動を開始、現在に至っています。

使 命

フィンランドと日本の間の学術的、文化的な架け橋の構築をすることを使命としています。

活動内容

- " 科学調査 "、" 学術研究 "、" 芸術文化 " を柱に、フィンランドと日本の協力関係を推進しています。
- フィンランドと日本の専門家相互の協同プロジェクトや研究、また、学生や芸術家による往来の活性化を図ります。

• •

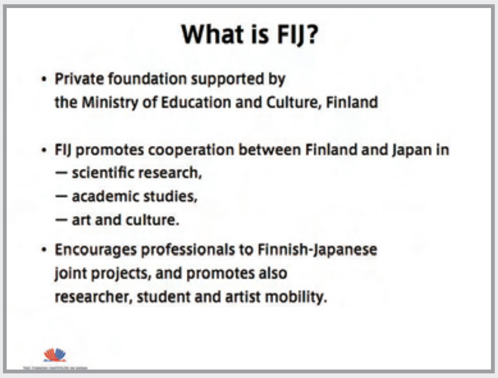
FIJ の具体的な活動方針

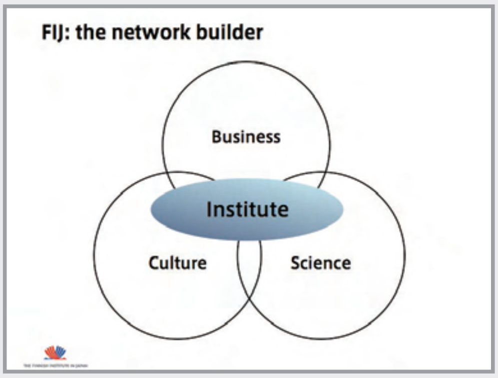
1. フィンランドと日本の学術関係者、研究者、アーティスト、組織の相互連携を発展させること。FIJ は、両国間の連携を構築するために、展覧会など、モノの移動だけでなく、人間が両国間を動いて何らかの協働を行うことを重視しており、アーティスト・イン・レジデンスも協働作業のひとつの方法として捉えています。
2. フィンランドと日本の文化的活動や双方向による調査研究、高等教育の促進をします。
3. フィンランドの研究者、学生、アーティストによる、日本での活動を支援します。フィンランドセンター内には展示スペースや公演会場がないため、すべてのイベントは日本側の提携機関と共同で行われます。FIJ 自身はプロジェクトに対し、資金助成はしませんが、資金援助についての豊富な情報を提供しています。
4. 日本を基盤に活動するフィンランドの団体を支援します。
5. 学術、芸術とビジネスとの結び付きも支援します。

FIJ の芸術・文化分野の活動

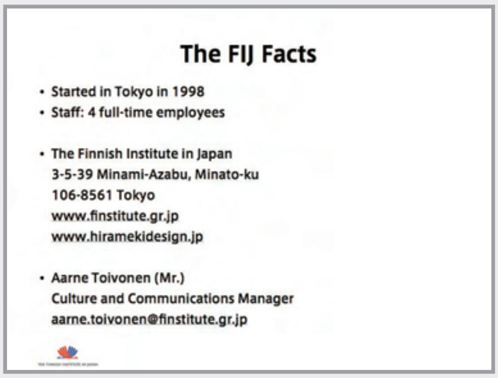
- ダンス、デザイン、文学などあらゆる芸術活動の紹介窓口として、情報センターの役割と機能を有します。
- 芸術・文化分野では教育文化省、外務省、経済交易省の支援も受けています。
- アーティスト、プロデューサー、主催者を結ぶ情報の提供や関係強化を通じて、フィンランドの現代芸術を日本に紹介しています。
- 年度毎、あるいは数年間単位のアクションプランに基づいたプロジェクトを実施し、ここ近年は、毎年、2 件の大型プロジェクトを含む、約 20 件程度のプロジェクトを行っています。

フィンランドセンター
The Finnish Institute in Japan
〒 106-8561 東京都港区南麻布 3-5-39
www.finstitute.gr.jp





【右】FIJ を紹介したスライドから転載



J-AIR NEWS

1. AIR_J: Renewal website of Japanese AIR programs
2. 3331 Arts Chiyoda: A new art center in Akihabara, Tokyo.
3. The Saison Foundation: Morishita studio will open a residence space in 2011.
4. Res Artis: General Meeting 2010 in Montreal, Canada, October 6-10, 2010.

1. AIR_J 日本全国のアーティスト・イン・レジデンス総合データベース開設

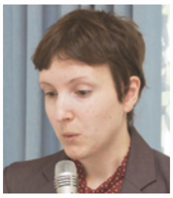
http://air-j.info/

日本全国各地で展開しているアーティスト・イン・レジデンス(AIR)に関する情報を、日英バイリンガルで提供するウェブサイト。日本のAIRや文化に関心ある世界の方々へ向け、日本のAIRの概要、実績、募集条件などの情報を提供している。2001年から始まったAIR総合情報サイトは、2006年に更新され、本件は、さらに新たな検索機能を備え、リニューアルしたものを紹介。

報告者：菅野 幸子
(国際交流基金情報センター)

2. 東京・アキバに新たなアートの拠点がスタート

http://www.3331.jp/



報告者：太田 エマ
(3331 Arts Chiyoda)

旧練成中学校を改修して誕生した3331 Arts Chiyodaは、さまざまなジャンルの第一線で活躍するアーティストやクリエーターたちがそれぞれの表現を自由に発信する場。
東京だけでなく、日本各地や東アジアをはじめとする世界中をつなぐ「新しいアートの拠点」となることを目指している。
1階ギャラリーでは、3331が注目するアートシーンを展覧会として公開。また、館内を歩き回り、かつて教室だったスペースに入居したアーティストやクリエーターたちの活動や展示をのぞくことができる。

3. セゾン文化財団が東京でAIRプログラムの開催を計画中。

http://www.saison.or.jp/studio/outline.html

報告者：岡本 純子
(公益財団法人セゾン文化財団)

東京・江東区森下の演劇・舞踊の稽古専用施設、「森下スタジオ」は、次年度よりゲストルームを整備し、滞在制作に対する支援を行う予定。

4. アーティスト・イン・レジデンス世界大会 (Res Artis 総会 2010) のお知らせ

http://www.resartis.org/

Res Artisは、アーティストの創作活動のための環境と支援を提供するレジデンス施設とレジデンス・プログラムの世界的ネットワーク組織。
今年の秋、10月6日(水)〜10日(日)、カナダ、モントリオールでアーティスト・イン・レジデンス世界大会が開催される。
'The Americas: Independent Artistic Practices in the Era of Globalization'をテーマに、世界中からAIRの関係者やアーティストが集う。参加は、Res Artisのメンバーばかりでなく、メンバー希望者が参加できる。基調講演やいろいろなセッション、展覧会、交流会など、盛りだくさんのプログラムがある。

報告者：村田 達彦
(遊工房アートスペース)

AIR
今までの 10 年、
これからの 10 年

J-AIR ネットワーク会議事務局
長沢アートパーク AIR 事業プログラムディレクター
門田けい子

今までの 10 年

日本に於いてアーティスト・イン・レジデンス (AIR) と称される芸術活動が紹介されてから 14、5 年が経過します。1993 年 ~1995 年にかけて国際交流基金が海外の AIR を調査報告したのを皮切りに、1997 年には文化庁は 5 年間、全国の自治体に向けて AIR 予算を図り、2001 年には全国に 25 か所を超える AIR が誕生するまでになりました。しかし、2001 年 (日本文化芸術振興基金支援)、文化庁の予算措置が終了するとともに、全国の地方自治体の下で実施されていた AIR は 1/3 へと減少しましたが、それに代わり私立や非営利団体 (NPO) による AIR が台頭し、2005 年には 23 件、2010 年には 34 件 (国際交流基金のホームページ AIR 情報、http://air-j.info/search/) と広がりを見せています。(J-AIR ネットワーク調査 2003 年 27 件、2010 年 44 件。)

日本の AIR のあけぼの期の 4~5 年は、主に国と地方行政の指導の下で、運営に携わる任意団体 (実行委員会組織) により取り組まれました。これは欧米のアーティストランによるオルタネイティブな AIR とは大きく目的を異にし、その後、国や地方自治体の政策方針が変わる度に、AIR の運営状況も変わるという運命を背負うことになりました。

特に、平成の市町村合併は、大きく AIR の環境も変えることになりました。合併後のドサクサ (?) で落ちこぼれてしまった AIR や、公共施設や幼稚園、小中学校の建物が合併により過剰になり、財政上の経費軽減のために指定管理団体や NPO、教育機関にそれを開放し、アート活動に利用運営してもらうという自治体が増えてきました。特に、この 5~6 年、地域の財源が厳しくなるに従って次第に AIR の予算確保も難しくなり休止や中止に追い込まれ、それに代わって、NPO に帰属するアーティストたちによる、過疎地の廃校を利用した地域密着型のアート活動へと変わり始めているようです。ある意味、オルタネイティブな欧米型に近づいてきたと言えるのかもしれません。

AIR への想いを可視化

さて、当 J-AIR ネットワークフォーラムは 2001 年に AIR 関係者を結ぶグループメールを立ち上げ、それを基に、2003 年からは諸外国の大使館やアーツカウンシルの開催協力のもと、AIR 担当者会議を開催してきました。この度の開催は第 9 回目となり、有栖川公園を挟んで隣接する 2 か国の大使館のお世話になりました。通常であれば基調講演と、その後の意見交換会を行いますが、今回は担当者会議の持ち時間が少ないことから、参加者全員によるワークショップを試みました。

予め用意された 4 つの設問に対して、短い持ち時間で、直観的に思いついた言葉 (キーワード) をポストイットに書きとめ、テーブル上に置かれた 2 枚 (2 グル—プ、各設問に付き各一枚) の A- 全用紙の上に貼り付けていきます。バラバラに貼り付けられた約 40~50 ことばを、2 グループ毎に、同じような意味を持つ言葉の分類作業をします。そこから自分たちが取り組んでいる「担当者の AIR への想い」を可視化し、AIR の概念を共有することを試みました。

「AIR とは何 ?」という問いに、「AIR の数だけ、多様で、一概にはいえない」と良く言われてきました。この場合の「多様」とは運営組織、例えば、公設、私立、NPO、民間財団、指定管理団体や教育機関など、確かにさまざまですが、少なくともこの度の集まりに参加している 27 名の現場の担当者が吐露したことばをまとめてみると、「アーティストの創作活動支援」という AIR の大きな目標は同じで、成果やそれに伴う担当者の達成感、満足度も同じように高いことに気づきました。会場からは日本の AIR の未来に希望が持てるとの声も挙がりました。ただ、もう一歩踏み込んだ運営上のさまざまな悩みや今後の課題についての設問は議論に時間が取られること

から避けたことは、ワークショップに対する物足りなさとなったのではないかと感じるところです。是非、次回の機会に繋げたいと思います。本誌では、ワークショップの様子やその時に抽出された言葉の数々が紹介できませんが、下記の J-AIR ネットのホームページ (http://www.endeavor.or.jp/j-airnet/) に掲載されています。

これからの 10 年

改めて、AIR とは何かと問われれば、狭義で言えばアーティストの創造活動支援の場、異なる文化の交差点ではないかと思います。また、それを広義的な目的から言えば国際社会のインターフェイスの場所 (装置)、すなわちアーティストはその装置の中で優れた文化翻訳をする専門家と考えても良いと思います。

日本の AIR が、例えば、毎年 200 名 (平均、一か所の AIR が約 4 名の滞在を受け入れたとする仮説) のレジデンスアーティストを排出したとしたら、この 10 年で 2,000 人のアーティストたちが日本文化や地域文化を何らかの表現を通して、国際社会へ紹介しているということになります。日本での AIR 終了後のアーティストの活動は一回ということはないでしょうから、想像するに、この世界中に散らばった 2,000 人による何万回の日本の話を聞いた人の数を小さい、或いは、大きいと想像するかは、個々の判断に任せるとして、その親和性の効果は絶大であると考えます。

日本社会の国際化が避けられないのであれば、AIR のような滞在型の創作活動の場の要請は、今後、ますます増大するでしょう。しかし、芸術文化をサポートする企業に負荷のかからない税制、観光ビザで入国するアーティストの受け入れ、単年度の事業立案と予算制度、AIR の専門家に対する身分保障制度など、ともすると日本社会の規範が国際社会と連動する時に生じるギャップは、AIR 担当者の負担になっていることも多々あります。

日本社会も AIR の国際的な役割を普遍化、恒常化しなくてはなりません。その為には海外の AIR 担当者との交流、協働も不可欠ですし、国内外の文化的ギャップの埋め方のノウハウを関係者相互で共有していくことが大事だと考えます。ただ、社会を変えるには自分たちの志とそれを成し遂げる持久力が先ずは重要ですが、AIR という国際社会が共有できる装置をつくるには、私たちだけの力では限界があります。

2006 年、オーストラリア大使館の協力を得て開催した第 5 回ネットワーク会議で、ゲスト・スピーカーとしてお呼びした当時の外務省広報文化部長の近藤誠一氏に「パブリック・ディプロマシーとアーティスト・イン・レジデンス」についてお話を頂きました。あれから 5 年が経過し、近藤氏はユネスコ日本政府代表部の大使、デンマーク大使を歴任され、今年の 7 月、文化庁長官にご着任されました。AIR 担当者の私たちにとって国の省庁が少し身近になり、うれしいニュースです。

先行き不透明な国際情勢だからこそ相互理解が必要であり、アーティストの創作活動の一端が、真に国際社会の日本理解に貢献しているとするとするならば,AIR 担当者の責務は今後の 10 年も、更に、アーティストを世界に繋げる役割を担っていると思います。

AIR OPEN FORUM

At the Royal Norwegian Embassy

Opening message by
Ms. Wenche Prebensen
Counsellor
The Royal Norwegian Embassy

オープニングメッセージ：
ノルウェー王国大使館参事官
ヴェンケ・プレベンセン様

■講演 1：「北極圏をつなぐ文化と AIR」
ハンナ・ハッリ

フィンランドのいくつかの異なる AIR の形態、プログラムの実例についてプレゼンテーションされた。

1. Guesthouse:
無償あるいは割引料金で部屋 (宿泊施設) の提供を行うもの。
2. AIR focused on art field:
音楽、ダンス、彫刻など、異なる分野に焦点をあてた AIR。
3. AIR in Museum :
「Museum of Emma and Folk」などは美術館や作家の家を利用した AIR。
4. AIR in art center:
アートセンターが主催する先駆的な AIR。
(例 :「Pol Art」環境問題をテーマに海洋学者とアーティストが北海で共に滞在し、コラボレーションするプログラム。)
5. AIR with specific programs:
地域性や自然環境などのサイトスペシフィックな AIR。
(例 :「BAR」ロシアとの国境に位置する地域で行われる ' 越境 ' をテーマにしたアートイベント。)

■講演 2：「異文化からインスパイアーされる AIR」
マリータ・イソベル・ソルベルグ

2009 年に信楽陶芸の森 AIR へ参加。窯業地のリサーチや制作のほか、地域交流を積極的に行った活動を紹介。また、出身地ワンダレン村をはじめとするノルウェーの地形、気候、サーメ族の文化や、いくつかの特徴的な AIR を紹介。また、自身の体験談、過去の作品について語った。

■パネルディスカッション「AIR と創作活動」

パネリスト：H・ハッリ /M・I・ソルベルグ
ゲスト：J・マッティラ (アーティスト)/A・トイヴォネン (フィンランド・センター)
司会：菅野幸子 （国際交流基金 情報センター）

北極圏での AIR の歴史や、アーティストの視点からの AIR 成果等について活発な意見交換があった。
司会者からフィンランド、ノルウェーにおける AIR の課題、解決策などについて意見が求められた。

ハッリ : 多くのレジデンスが小規模であるため財政危機に面しており、複数の財源確保のために働きかけなければならず、組織の疲弊に繋がるのではないかと危惧している。組織間の協力により、相互の機能を利用するなど効率的な運営が必要。

ソルベルグ : ノルウェー北部は人口密度が低く産業もほとんどないが、独特の地方文化を背景としたレジデンスがある。地域と繋がりができるようなレジデンスの運営を考えるべき。

トイヴォネン :FIJ のプロジェクトでは、複数の事業を組み合わせることによって、内容に厚みを加えることができた例がある。基調講演で例に挙がった、海洋生物学者とアーティストのコラボレーションのように、文化芸術だけを財源にするのではなく、同じ分野に興味があるパートナーを捜すことで、財政難を乗り越え、新しい展開に向けての可能性が見えてくるのではないか。

最後に、司会者から「世界的経済危機の中で、AIR はコラボレーションや知恵の出し合い、別のネットワークとの繋がりなどの新しい可能性がある。現在アートという言葉の定義が拡大し、文化全体に係る問題になっている。分野、国境を越えた政策が可能であるのも AIR である。」とまとめがあって、パネルディスカッションを終了した。

Keynote 1 : Henna Harri

Arctic's network for culture and AIR

Henna Harri introduces AIR's program in Finland. She presents different kind of residences in Finland:

1. Guesthouse:
   Location for residences either free of charge either partly in charge of the artists
2. AIR focus on art field
   For example: music, dance, sculpture, ect.
3. AIR in museum, organised by museum's curator, the artists stay in the local artist's house
   For example: Museum of Emma and Folk
4. AIR in art centre: Work on Current concerns
   For example: Pol Art, which focus on environment, offers a collaboration between ocean scientists and artists
5. AIR with specific programs: specific sites
   Artists imagine a specific project for a specific space
   For example: BAR program is run at a site near Russian borderline, providing subjects about "borderline" with many art events.

Keynote 2 : Marita Isobel Solberg

Marita Isobel Solberg took part in 2009 of the Shigaraki Ceramic Cultural Park program. She made, on one hand, a research on local ceramic factories. On another hand, she collaborated with locals to generate projects.
She presented at this occasion scenery of Norway about saami Indian culture. Marita Isobel Solberg comes herself from this culture.
She also presented her hardwork to the audience. She talked about her residence life and experiences.

Panel discussion

At this forum, lots of discussions were hold about the arctic countries from the point of view of the artists. Sachiko Kanno (the moderator) asked how to solve the problem of founding. Henna Harri replied that there are a lot of small residency programs, which are difficult to finance. Because of the bad economy, founding becomes harder and harder. That's why it is now essential to generate more collaborations between residency programs in order to exchange abilities.
Marita Isobel Solberg replied that although the population of the north part area of Norway is decreasing and the industry is weakening; many unique and interesting residency programs appear. Residency programs should definitely collaborate more with locals.
Aarne Toivonen from The Finish Institute in Japan replied that as the Pol Art (mentioned in a previous presentation) a solution to enlarge the budget would be to collaborate with different fields on this example scientific and art fields. This would be one solution to fill budget difficulties.
Sachiko Kanno concluded with this message: global economic crisis forces ourselves to seek new solutions. Currently the definition of art is expending to the whole culture field. Nowadays governmental culture plan should be set up in order to promote future AIR possibilities through cross border and business fields projects.

ハンナ・ハッリ
ヘルシンキ国際 AIR 担当ディレクター
Henna Harri

ハンナ・ハッリ / 1966 年 ロヴァニエミ市フィンランド生まれ。現在、ESPOO 在住。1990-98 ラップランド大学、美術造形学部 修士号取得。1993-94 マンチェスター メトロポリタン大学、環境アート在学。1999-2003 年ラップランド・アート・カウンシル (ACL)、ラップランド美術担当者。2003-2009 フィンランド芸術交流基金コーディネーター (FRAME)。2010 ~ 現在 ヘルシンキ国際 AIR 担当ディレクター (HIAP)。

Henna Harri / Born in 1966 in Rovaniemi, Finland. After receiving Master degree at the University of Lapland, she also received a post graduate diploma in Art as Environment at the Manchester Metropolitan University in 1994. She worked for the Arts Council of Lapland as a Visual Arts Officer (1999-2003), and FRAME - Finnish Fund for Art Exchange - as a Coordinator (2003-2009) and she is since 2010 Director of Helsinki International Artist-in-Residence Program.

マリータ・イソベル・ソルベルグ
アーティスト
Marita Isobel Solberg

マリータ・イソベル・ソルベルグ / 1977 年トルモソ、ノルウェー生まれ。陶芸、インスタレーション、パフォーマンス、サウンドや音楽、写真の分野でアーティスト、ミュージシャンとして国内外で活躍。2007 年国際芸術アカデミー ヴィジュアルアーツ修士課程修了後、同年 7 月から 3 ヶ月間滋賀県立陶芸の森アーティスト・イン・レジデンス事業に参加。滞在中、信楽町内の登り窯にて「世界をドットにかえよう !」展開催、オープニング・パフォーマンスも披露。

Marita Isobel / Born in 1977 in Tromsø, Norway. She works in wide areas such as ceramics, installation, performance, music and photography. After receiving Master degree of Visual Arts in Oslo National Academy of the Arts in 2007, she came to Japan to participate in Artist in Residence program at Shigaraki Ceramic Cultural Park. During her stay she held an exhibition "Let's dot the world".

AIR organizations in Finland, Norway and Sweden

Finland

フィンランドのアトリエ協会情報
Residencies in Finland
URL: http://www.ateljeesaatio.fi/english/ateljeeluettelo.html

1. Raumars - Artist in Residence Programme
Architecture, Drawing & Painting, Media Art, Music, Sculpture, Theatre
Valtakatu 7, Rauma
TEL: +358-50-3317465
URL: http://www.raumars.org
Email: raumars@raumars.org

2. Finnish Artists' Studio Foundation
Drawing & Painting, Media Art, Sculpture
Lemuntie 4 D 21, Helsinki
TEL: +358-9-72680471
FAX: +358-9-72680472
URL: http://www.ateljeesaatio.fi
Email: info@ateljeesaatio.fi

3. The Aland Archipelago Guestartist Residence - Köka
Drawing & Painting, Sculpture
Kökarkultur r.f, AX- 22730 Kökar, Åland
TEL: +358-40-7473642
URL: http://www.kokarkultur.com
Email: kokarart@hotmail.com

4. Kolin Ryynänen Residence for Artists
Drawing and Painting, Film, Media Art, Multi Media, Photography, Sculpture
c/o Arts Council of North Karelia, Kauppakatu 11, Joensuu
URL: http://pktaidetoimikunta.net/en/in+english/
Email: koliresidence@gmail.com

5. HIAP - Helsinki International Artist-in-residence
Curating/Research, Dance, Drawing & Painting, Film, Media Art, Multi Media, Photography, Sculpture, Theatre
Cable Factory, Tallberginkatu 1 C 97, Helsinki
TEL: +358-9-6856730 FAX: +358-9-6856730
URL: http://www.hiap.fi Email: marita@hiap.fi

6. Stiftelsen Pro Artibus
Drawing & Painting, Film, Media Art, Multi Media, Photography, Sculpture
Gustaf Wasas gata 11, Ekanäs
TEL: +358-19-2239 013
URL: http://www.proartibus.fi
Email: asa.lonnqvist@proartibus.fi

7. Saksala ArtRadius
Media Art
Karhunti e 11, Haukivouri 51600
TEL: +358 (0)504625675
URL: http://www.saksala.org
Email: mail@saksala.org

8. Nelimarkka Residence / Museum
Drawing & Painting, Printmaking
Pekkolantie 123, Alajärvi
TEL: +358 (0)6 5572129
FAX: +358 (0)6 5573889
URL: http://www.nelimarkka-museo.fi
Email: toimisto@nelimarkka-museo.fi

9. Kemijärvi Sculpture & Culture Foundation
Visual Arts, Sculpture, Ceramics, Performing Arts, Textile, Music, Literature, Educational Programmes, New Media, Curating
PL 37, FIN-98101 Kemijärvi
TEL: +358 40 579 1644
FAX: +358 16 812 401
URL: http://www.kemijarvi-artresidence.fi
Email: kemijarven.kulttuurisaatio@co.inet.fi

10. KulttuuriKauppila
Ceramics, Drawing & Painting, Literature, Media Art, Multi Media, Photography, Printmaking, Textile
Kauppilantie 15, Ii
TEL: +358 8 8198 556
FAX: +358 8 8198 555
URL: http://www.kulttuurikauppila.fi
Email: info@kulttuurikauppila.fi

11. Arte ry – Gallery Titanik / Sumu A.i.R.
Media Art, Multi Media
Itäinen Rantakatu 8, Turku
TEL: +358 2 2338 372
URL: http://www.arte.fi
Email: sumu@arte.fi

12. Art Break
Visual Arts, Sculpture, Ceramics, Performing Arts, Textile, Literature, Educational Programmes, Glass
Koppeloniementie 12, Ii
TEL: +358 45 1242050
URL: http://www.taidepaussi.fi
Email: kaisa.keratar@gmail.com

13. Hovinkartano Art Exhibition Centre
Visual Arts, Sculpture, Ceramics, Performing Arts, Textile, Music, Literature, Curating, Critique
Sotjalantie 58, Hauho
TEL: +358-3-6542344 FAX: +358-3-654-2478
URL: http://www.hovinkartano.net
Email: r.tarvainen@hovinkartano.net

14. Saari Residence
Visual Arts, Sculpture, Performing Arts, Architecture, Music, Literature, Media Art, Critique
Saaren rantatie 21, Mietoinen
TEL: +358(0)2 431 4200
URL: http://www.koneensaatio.fi/en/manor
Email: saari@koneensaatio.fi

15. Ateljé Stundars
Drawing & Painting, Media Art, Sculpture
KulturÖsterbotten, Handelsesplanaden 23 A, FI-65100 Vaasa
URL: http://www.svof.fi/artstundars
Email: atelje.stundars@svof.fi

16. Fiskars Residency - The Cooperative of Artisans, Designers and Artists in Fiskars
Curating/Research, Drawing & Painting, Film, Graphic Design, Literature, Media Art, Multi Media, Photography, Sculpture
Clock Tower Building, FIN-10470 Fiskars
TEL: +358 (0)19 2777500
FAX: +358 (0)19 2777501
URL: http://www.onoma.org/en/residency/index.php
http://www.fiskarsair.fi
http://www.fiskarsvillage.fi
Email: onoma@onoma.org

17. Jyväskylä Centre for Printmaking
Printmaking
TEL: +358 (0)14 266 43 89
FAX: +358 (0)14 61 57 30
URL: http://www3.jkl.fi/kulttuuri/taidemuseo/grafiikkakeskus
Email: taidemuseo@jkl.fi

18. Loviisa Artists' Studio
Architecture, Drawing & Painting, Media Art, Music, Sculpture
Karlskronabulevardi 8, PL 68, 07900 Loviisa
TEL: +35850 3555 701
URL: http://www.lovart.fi
Email: jounijappinen@gmail.com

19. Porvoo Paper Art Studio
Drawing & Painting, Sculpture, Visual Arts
Kokonniementie 6, 06100 Porvoo
TEL: +358-40-841-40-70
Email: anne_raisanen@hotmail.com

20. Salo Art Museum – Majala Artists' Residence
Drawing & Painting, Literature, Media Art, Sculpture
Mariankatu 14, 24240 Salo
TEL: +358(0)2 778 4892
FAX: +358(0)2 778 4891
URL: http://www.salomus.fi/taidemuseo/majala/index_eng.html
Email: veturitalli@salo.fi

21. SAMK art residence
Fine Art
Kankaanpää, Paasikivenkatu 24, 38700 Kankaanpää
TEL: +35826206191
FAX: +35826206160
URL: http://www.samk.fi/students/campuses/faculty_of_business_and_culture_kankaanpaa
Email: int.likka@samk.fi

22. Tapiola Guest Studio
Drawing & Painting, Film, Media Art, Photography
Finnish Artists' Studio Foundation, Lemuntie 4 D 21, FIN-00510 Helsinki
TEL: +358-(0)9-7268 0470/71
FAX: +358-(0)9-7268 0472
URL: http://www.ateljeesaatio.fi/english/tapiola.html
Email: info@artists.fi

23. The Residence of Inari
Drawing & Painting, Film, Multi Media, Photography, Sculpture, Visual Arts
Koppelon Koulu PPA, 99800 Ivalo
TEL: +358-40-7338-141
URL: http://www.artslap.fi/
Email: raija.rantala@artslap.fi

24. Viippola International Artist Residence
Drawing & Painting, Media Art, Sculpture, Theatre
Tornio Cultural Office, Keskikatu 22, FIN-95400 Tornio
TEL: +358-16-432 424
FAX: +358-16-432 612

URL: http://www.ateljeesaatio.fi/english/ateljeeluettelo.html#tornio
Email: helena.junes@tornio.fi

25. Zodiak - The Center for New Dance
Dance
Tallberginkatu 1 B/154, FIN-00180 Helsinki
TEL: +358 (0)9 694 4948
FAX: +358 (0)9 562 5805
URL: http://www.zodiak.fi
Email: zodiak@zodiak.fi

26. ARTIST-IN-RESIDENCE I NORD
The northern Calotte Area residencies
URL: http://troms.kulturnett.no/show.aspx?p=148

27. Lapin Taidetoimikunta
Barents Region residencies
URL: www.artslap.fi

Norway

1. Nordic Artists' Center in Dale
Visual Arts, Sculpture, Architecture, Educational Programmes, New Media, Curating, Critique
6963 Dalsåsen, Dale i Sunnfjord
TEL: + 47 577 36 201
URL: http://www.nkdale.no
Email: coordinator@nkdale.no

2. Lademoen Kunstnerverksteder
Visual Arts
Mellomveien 5, Trondheim
TEL: +47-7351-3515 FAX: +47-7351-3372
URL: http://www.lkv.no
Email: lademoen@online.no

3. Stiftelsen Kunstnerhuset i Svolvær
Visual Arts, Sculpture, Literature, New Media
Bernt Salvesensvei 14, Svolvaer
TEL: +47-99 55 26 86
URL: http://www.kunstnerhuset-lofoten.no
Email: post@kunstnerhuset-lofoten.no

4. Rogaland Contemporary Art Centre
Nytorget 17, 4013 Stavanger, Norway
TEL: +4751599760 FAX: +4751599761
URL: http://www.rogalandkunstsenter.no
Email: air@rogalandkunstsenter.no

5. Tou Scene
Visual Arts, Performing Arts, New Media
P.O. Box 1590, NO-4093 Stavanger
TEL: +47 51 53 05 95
URL: http://www.touscene.com
Email: annemarte@touscene.com; tou@touscene.com

6. Agder Center of Arts
Visual Arts, Sculpture, Ceramics, Performing Arts, Textile Art, New Media, Glass
Skippergata 24, Kristiansand
TEL: 0047 38029312
URL: http://www.agderkunst.no
Email: adm@agderkunst.no

7. AIR - Sandnes kommune Rogaland fylkeskommune
Visual Arts, Sculpture
Sandnes kommune Artist in Residence postboks 583, Sandnes
TEL: T +47-51 33 78 33
URL: http://www.sandnes.kommune.no/air
http://www.kinokino.no/kinokino/public/openIndex?ARTICLE_ID=533
Email: postmottak@sandnes.kommune.no

8. Nordic AIR, Bergen / Hordaland Art Center
Visual Arts, Sculpture, Ceramics, Performing Arts, Architecture, Textile Art, New Media, Glass
Pb 1745, Nordnes, Bergen
TEL: 55 90 85 90 FAX: 55 90 85 99
URL: http://www.kunstsenter.no
Email: hks@kunstsenter.no

9. Drammen kommune
Kulturtjenesten, Engene 1, Drammen
TEL: +4792403535 FAX: +4732046370
URL: http://www.unionscene.no
Email: bard.krakevik@drmk.no

10. BAR International
Pikene på Broen, Box 180. N-9915 Kirkenes
TEL: +47 78 99 38 79, +47 78 99 38 78
URL: http://barinternational.no
Email: pikene@pikene.no

11. Flaggfabrikken
Photography, Printmaking
Møllendalsveien 17, 5009 Bergen
TEL: +47 45421116
URL: http://www.flaggfabrikken.net
Email: post@flaggfabrikken.net

12. International Studio Programme / Office for Contemporary Art Norway
Drawing & Painting, Film, Media Art, Multi Media, Photography, Sculpture
Wergelandsvn. 17, NO 0167 Oslo
TEL: +47-23 23 31 50 FAX: +47 23 23 31 51
URL: http://www.oca.no
Email: info@oca.no; office@oca.no

13. Kristiansand Kommune
Visual Arts
Rådhusgata 16, Service box 417, 4604 Kristiansand
TEL: +47-38 07 51 50
URL: http://www.kristiansand.kommune.no
Email: post.kultur@kristiansand.kommune.no

14. USF Verftet / Stiftelsen Kulturhuset USF
Dance, Drawing & Painting, Literature, Media Art, Music, Sculpture
Georgernes Verft 12, Bergen, NO – 5011
TEL: +47-55307410 FAX: +47-55 232006
Email: air@usfverftet.no

Sweden

1. Konstepidemin
Visual Arts, Performing Arts, Textile Art, Literature, New Media, Curating
Konstepidemins väg 6, Göteborg
TEL: +46-31-8285 58 / 96
FAX: +46-31-8285 68
URL: http://www.konstepidemin.com
Email: info@konstepidemin.com

2. Iaspis, The Swedish Arts Grants Committee's Intern
Visual Arts
Maria Skolgata 83, Stockholm
TEL: +46 (0) 8-50 65 50 5
URL: http://www.iaspis.se
Email: st@iaspis.se

3. Baltic Art Center
Visual Arts
Skeppsbron 24, 621 57 Visby
TEL: +46-498-20 03 35
URL: http://www.balticartcenter.com/
Email: lisa@balticartcenter.com

4. EuropeanArtists.tv / Långvästen AB
Visual Arts, Sculpture, Performing Arts, Architecture, Textile Art, Music, Literature, Educational Programmes, New Media
Skolvägen 4a, Hällefors
TEL: +46 (0)591 487111
URL: http://www.europeanartists.tv/
Email: info@europeanartists.tv

5. Emma Ricklunds stiftelse
Visual Arts, Performing Arts, Architecture, Music, Literature, Educational Programmes, Curating, Critique
Axel Aronsväg 6 Saxnäs, 910 88 Marsfjäll
TEL: +46(0)7066 70049
FAX: +46(0)7066 70049
URL: http://www.ricklundgarden.com/
Email: post@ricklundgarden.com

6. Baltic Centre for Writers and Translators
Literature
P.O. Box 1096, 621 21 Visby
TEL: +46-498 218385
URL: http://www.bcwt.org/
Email: baltic.centre@gotlandica.se

7. Nordic Watercolourmuseum
Drawing & Painting
Södra hamnen 6, 47132 Skärhamn
TEL: +46-30 4600080 FAX: +46-30 4600099
URL: http://www.akvarellmuseet.org
Email: info@akvarellmuseet.org

8. Visby International Centre for Composers
Music
Skeppsborn 18, SE-621 57 Visby
TEL: +46-498 249900/04/03
FAX: +46-489 249900
URL: http://www.centreforcomposers.org
Email: info@centreforcomposers.org

◆出典
ResArtis – Worldwide Network of Artist Residencies
http://www.resartis.org/
TransArtists
http://www.transartists.nl/

◆このリストは J-AIR ネットワーク会議ウェブサイトに後日掲載予定です。
http://www.endeavor.or.jp/j-airnet/

目次

P.1　はじめに / FOREWORD

P.2　フィンランドセンター (FIJ) の紹介

P.3　J-AIR NEWS

P.4　AIR 今までの 10 年、これからの 10 年

P.6　AIR OPEN FORUM

P.8　AIR organizations in Finland, Norway and Sweden

J-AIR ネットワーク会議報告書（2010）

編集・発行 :

J-AIR ネットワーク会議実行委員会事務局

〒 101-0021 東京都千代田区外神田 6 丁目 11-14-B109

Tel : 050-3304-9001

URL: http://www.endeavor.or.jp/j-airnet/

発行日 : 2010 年 10 月 20 日

©J-AIR ネットワーク会議実行委員会

©Monica Marcella(表紙写真)